

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（南部地域）第4回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年12月21日（水） 14時00分～15時30分

場 所：滋賀県南部合同庁舎4階4A会議室

出席者：綾井 考子 委員（草津栗東交通安全協会 副会長）
井上 和典 委員（栗東市 建設部部長）
岩崎 裕史 委員（公募委員）
打田 敏之 委員（草津市 建設部部長）
大黒 栄一 委員（公募委員）
小川 圭一 委員（座長）（立命館大学工学部環境都市工学科 教授）
奥田 晃 委員（草津警察署 交通第一課課長）
奥田 康博 委員（（公財）滋賀県身体障害者福祉協会 常務理事）
川瀬 正 委員（守山市 都市経済部部長）
田中 ひろ子 委員（守山野洲交通安全協会会長、滋賀県商工会議所女性会連合会副会長）
中井 拓 委員（守山警察署 交通課課長）
平川 千波 委員（滋賀県トラック女子部会 会長）
三上 忠宏 委員（野洲市 都市建設部部長）
山本 勇造 委員（公募委員）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）座長挨拶

- ・小川座長が挨拶を行った。

（2）第3回地域ワーキングの内容の確認

- ・事務局より第3回地域ワーキングの内容について説明を行った。

（3）資料説明「第4回地域ワーキング」

- ・事務局より第4回地域ワーキングについて説明を行った。

（4）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【客観的評価マニュアルによる事業の評価について】

- ・これがすべて整備されればすごく良い地域になると思うので、なるべく早く着手してもらいたい。
- ・地域の重点項目で客観的評価マニュアルに加えて、点数化して「見える化」しているのは良いと思う。市民にも道路整備の必要性が説明しやすい。
- ・国道8号から竜王ICへのアクセス道路について検討していく方向性を示してもらって感謝申し上げる。
- ・隣接する近江八幡市とまたがる道路が候補に挙がっている件について、その先線については、東近江土木の方でどのような展開をしているか分かれば教えてもらいたい。
- ・東近江土木でも、進捗に差はあるがどちらも掲載予定となっている。(事務局回答)
- ・国道8号バイパスなど渋滞解消やまちづくりに期待できているので、円滑に進むことを期待する。5年以内に着手なのか完了なのか、分かりやすく掲載してもらえたらと思う。
- ・5年後の道路計画になるが、整備されたところから問題点が解消されていて少しずつ進んでいると思う。誰もが住みよい、未来への道づくりに向けてよろしくお願ひしたい。

① 拠点間ネットワーク整備

- ・⑫赤野井守山線は、地域の重点項目加点の赤枠内には○が入ってなくて一次評価もランクⅡだが、続きのところを整備してもらえるように期待している。
- ・⑪大津草津線はどういった形で整備していくのか。どこまで進んでいるのか。
- ・交差点改良で事業を進めていくことを考えている。具体的には右折だまり整備の計画をしている。また、南草津駅に向かう右折レーンも短い、用地買収は難しいので、道路区域の中で右折レーンを延長する努力の設計をしている。(事務局回答)
- ・22ページで、⑩が点線表示となっているものの意味を教えてください。パンフレットでの掲載時はどのような形になるのか。
- ・実線は事業をしていく部分であり、点線部分は引き続き検討を進めていきたいと考えている区間になる。掲載方法については、注釈の記載を含めて県庁と調整する。(事務局回答)
- ・地元からも強い要望のある地域である。以前は実線で検討路線として挙げていたので、見たときに後退しているように思われぬようにしてもらいたい。
- ・使い分けがあるのであれば凡例の表示をしてもらいたい。
- ・⑬平野草津線、運転する人のモラルもあるが、道路構造として、信楽からではカーブになっていて見えない。児童相談所や福祉センター、精神医療センター、養護学校などがある医療福祉ゾーンになる。ぜひ早急な整備をしてもらいたい。
- ・南北軸は山手幹線と湖南幹線、国道8号の野洲栗東バイパスが完成すれば、南北の整序化が図れると思う。⑮・⑯は国道1号と栗東ICのアクセス道路として非常に大事だが非常に渋滞しているので早期の完成をお願いしたい。

② 拠点内道路空間整備

- ・②・⑧大津守山近江八幡線、⑬大津草津線、具体的な工法のイメージ、整備イメージを教

えてもらいたい。

- ・②は、歩道が途切れているところがあるので歩道整備を検討。⑧は、道路が狭隘で、車道が狭く、歩道もない箇所道路整備を抜本的に進めていく。⑬南草津駅の近くの県道は、車道整備はできているが歩道が狭いところがあるので歩道整備を進める予定。(事務局回答)
- ・多くの児童が通行する通学路の安全対策、浜街道周辺の歩道整備が進められることで、より住みやすいまちとなっていくものと思う。
- ・③片岡栗東線、焰魔堂・大門工区について、歩道整備としてバリアフリー化や自転車通行の確保をお願いしたい。植樹帯や電柱もあり、歩道が狭い。街路樹を撤去して、乱横断防止のガードロープの設置をお願いしたい。また、自転車歩道通行可であるが、自転車が通ると歩行者が危なくて通れない。4車線道路なので自転車の車道通行も危険である。守山南中学校も近くにあるので、早急に整備をお願いしたい。

【その他】

- ・2018のパンフレットでは、いつ着手するのか、完了予定がいつなのか、継続とかの印が付いていたが、2023でも概ねの予定で着手時期が示されるのか。
- ・2018と同様に表示する。(事務局回答)
- ・滋賀県の南部地域は産業、商業が発展して人口が増加している地域。将来のまちづくりに向けた道路整備を期待している。4回のWGでの意見交換では、ハード面だけに限らずソフト面、自転車の安全走行に関する啓発なども必要と再認識できた。
- ・位置付けられた道路の整備効果が早期に発揮されるよう、しっかりと進めていただきたいし、道路のストック効果を発揮しうよう、関連する当市の事業も積極的に進めてまいりたい。
- ・渋滞での抜け道については、交通規制や速度制限などの意見があるが、規制だけでは対応できないところも多々あるので、今後も道路管理者と連携していきたい。また、大規模開発時には、市・県の道路セクションと開発セクションに連携して進めてもらいたい。
- ・この地域は工業地域や住宅が密集している。一般市民の住宅もあるので交渉は大変だと思うが、工業地域に入る幹線道路はしっかりした道路が必要である。これから5年10年の計画になるが、2025年は国体の開催もあり、皆さんを迎えるための道路整備をしていかないといけないと思う。引き続き、一般の方を巻き込んだ道路づくり、良い形で続けてもらえればと思う。
- ・今後の維持管理について、利用している方の意見を聞くことが大事だと思う。特に障害のある人全般の意見も聞いてもらいたい。